



三重電気会報

平成11年1月発行 第80号

新年あけまして
おめでとうございます

本年もよろしく
お願い申し上げます



「初風」 伊勢支部 三上 舜

年頭所感



三重県電気工業業工業組合

理事長 青山登志男

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご家族お揃いで新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、政治、経済が大きなうねりの中で終始した一年でありました。

日本経済は、バブル崩壊を契機として、あらゆる分野に大きな影響をもたらした。亦、不良債権に端を発した金融界、証券会社の金融破綻等、予想もなかった事が相次いで起こっている。期待されたわが国の景気も一向に上向きの気配もなく、むしろ後退している感があります。

私達関連の建設業界でも、大手建設業者の倒産が相次いでいます。

電気工事業界におきましても、公共工事の七パーセント削減、工事費の縮減、一方、住宅産業も着工件数の大幅な減少、更には行きすぎた価格破壊も一段と烈しくなっております。

私達を取りまく環境は益々厳しさを増しております。今、暗い果てしなき抜け道のない不況も十月の経済企画庁発表ではDI速報値五十パーセントを割り込み、連続十三ヶ月も雇用や中小企業の売上高が改善せず、消費水準は依然として低い。同庁は景気は極めて厳しい状況と発表しまし

た。

産業用大口電力使用量、有効求人倍率等八月に続いて三ヶ月マイナス続きの中で、十月に入り株価は平均株価八〇〇円以上と半年振りの急騰、しかし、景気や企業業績等経済の基本的条件は好転していない。「一時的」が大勢と市場関係者は言っている。

中小企業の業績も過去最悪の資金繰りも「好転」下企業から悪化した企業を差し引いたDI値はマイナス三七、八と最悪を更新、貸し渋りを反映する結果となった。

銀行の中小企業への貸し渋りは依然として解消しておらず、貸し渋りによる中小企業の或る日突然倒産と言う事態も有り得ると思う。

昨年の倒産件数は中部五県で六〇〇社の倒産があり、これは一日に二件にもなります。暗いニュースは後を絶ちません。電気工事業界においても

常識を越えた過当競争や価格破壊が一段と顕在化しており、極めて厳しい状況下にあります。

これからの生き残りには如何にすべきか、皆様共々真剣に考えていかなければなりません。

お店の無駄な経費を切り詰め、少しでも店の合理化を図りながら景気の回復を待つしかありません。

電気設備も高度情報化が急激に進展する現在、二十一世紀の内需は情報通信産業が中心になって来ると予想されます。

昨年は情報化の進展に伴う技術力習得の一環として、マルチメディア情報先行配線の研修会を実施しました。

今年、これに関連した一ランク上の「デジタル第三種」の講習会を予定しております。

近年、電気設備も高度な技術力が問われる時代になって参りました。この技術力を持って顧客に信頼され

ることが、今後の生き残りとお店の繁栄につながると信じています。

我々の念願でもある分離発注も、遅々乍ら県市町村のご理解と我々の熱意で概ね分離発注に踏み切って戴きました。

これにより我々の地位の向上があるとともに、工事量も増えると思えます。

快適でより良い暮らしのために電気は無くしてはならないエネルギー源です。このエネルギーを確保するためには、原子力発電があり現在では総発電量の三〇パーセントの供給しかありません。

電気使用量が年々増加する中、原子力発電の必要性を理解しピーアールにつとめ、我々工組も建設の早期実現に向け、側面から啓蒙運動を積極的に展開する必要があると考えます。

この厳しい時代を乗り切るには繁栄も衰退も主役は自分だと言う自覚をもって、

(3面へつづく)

(2面よりつづく)
頑張っ行ってこうではありま
せんか。

これからも皆様のご協
力を戴き会員皆様の発展を目
指して頑張る所存でありま
す。

本年は卯年、おとなしい
干支でありますが卯のよう
に二段飛び、三段跳びの跳
躍力で不況を飛び越えるこ
とを願っています。

終わりに当たり会員皆様
のご繁栄とご健勝を祈念い
たしまして、新年のご挨拶
といたします。



新年のごあいさつ



中部電力株式会社
取締役三重支店長

青木 潤

新年あけましておめでと
うございます。

会員の皆様におかれまし
ては、ご家族お揃いで、健
やかに新年をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

旧年中は、弊社の事業運
営に格別のご支援とご理解
を賜り、厚くお礼申し上げ
ます。特に昨年九月、伊勢
湾台風以来という強風台風
七号が襲来し、当支店では
電柱二一四本、電線一〇二
五条損傷などの甚大な被害
を受け、多くのお客様にご
迷惑をおかけいたしました。
復旧に際しましては、電気
工事業界の絶大なご支援
を賜り、被害の割には大部
分のお客様の停電は早期に
復旧することが出来ました。

重ねてお礼申し上げます。

さて、ここ数年、年頭に
あたり願うことと言えば、
景気の回復であります。政
府はバブル崩壊以降、数次
に亘る経済対策を実施して
きましたが、金融政策の破
綻や株式市場の低迷など
より、その効果も上がらず、
昨年ほどの指標もマイナ
スの連続で、景気の底さえ
見えない一年でありました。

今年こそは、昨年十一月に
発表された緊急経済対策に
加え、税制や経済システム
の構造改革などにより、消
費も増え、景気は上向くも
の期待してやみません。
電気事業におきましては
一昨年来、規制緩和の一環
として、電力の小売り自由

化が中央大で議論されて参
りましたが、現在、給電コ
ントロールに比較的影響の
小さい二〇kVかつ二〇〇
kW以上のお客さまを対象に、
既存の電力会社を含めた全
ての発電会社からの買電自
由化となる枠組みが策定さ
れつつあります。こうした
枠組みは、お客さまにとっ
て、どのような判断をな
されるか見当がつきません
が、当社といたしましては、
価格・サービス両面におい
て、お客様に選ばれる会社
で有り続けるよう努力して
参る所存であります。

が主催する「二十一世紀の
エネルギーを考える会・み
え」につきましては、会員
が昨年十二月までに五十万
人を超える勢いであると同
ております。これからもエ
ネルギー問題にご関心の高
い方々がご入会され、さら
に発展されますことを期待
しております。

加えまして、芦浜原子力
発電所の立地状況につきま
しては、知事のご要請をお
受けして以降、現地におけ
る立地推進活動を休止して
おりますが、その期限が本
年十二月までとなりました。

今年、統一地方選挙の
年ではありますが、問題山積
の中、芦浜原子力問題も重
要なテーマです。このこと
を理解する県民の代表者が
政治の場に一人でも多く登
場することを切に願ってい
ます。電気工事業界の皆様
には、本年も電力の安定供
給や負荷平準化にいろいろ
とお世話になることと存じ
ますが、引き続き倍旧のご
支援とご鞭撻をお願い申し
上げます。

このときには、新たな飛躍
を期待しており、このため
にも、まだまだ多くの方々
にご理解を賜りたいと願っ
ております。

また、経済界や労働団体

最後に、貴会および会員
の皆様とご家族の一層の発
展とご健勝、そして安全を
祈念いたしまして、新年の
ご挨拶とさせていただきます。

新年あいさつ



社団法人 東海電友共済会

理事長 源馬 弘

新年明けましておめでと
うございます。

謹んで新年のご祝詞を申
し上げます。貴組合員の皆
様におかれましては、ご家
族お揃いで新春をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

昨年は一昨年の生保、証
券、大手銀行の破綻と言っ
て、まだ経験したことのない
事態を受けて年が明けまし
た。日本経済は低金利の踏
襲により景気の回復に期待
を掛けましたが、経済は大
手銀行の信用不安をはじめ
とした金融不信に加え政策
の空廻りにより中途半端な
経済政策に終始しました。
年半ばで政権が交替し、景
気刺激型の政策運営を目指
し発足致しました。

新政権は金融システムの
安定、所得税および法人課
税の恒久減税、追加補正予
算等の積極的な対応にとり
くんだ10年度でありまし
たが、依然として金融の貸
し渋りと不良債権の未処理
等不確定な諸問題を抱えて
越年いたしました。

新年を迎え政府の景気不
況脱出は向こう一兩年とし
たいと言明しております。
これが正しいとするならば、
本年は暗いトンネルの向こ
うに微かに明るいのが見
える年となるのかなと期待
したい次第であります。
私ども共済会も金融の低
迷により低金利と株式市況
の不振により、資金運用は
非常に厳しい環境にありま

す。本年四月より大手生保
は予定利率を改定したいと
表明されております。この
ような状況にありますので、
当共済会としましては会員
各位のご理解とご協力を得
ながら給付率の検討をお願
いする事態も考慮しなけれ
ばならないと考えておりま
す。

今後は景気の早期回復に
期待をするところでありま
す。

私ども電気業界も工事量
の減少及びコストダウン等
依然として厳しい環境にあ
ります。このような競争激
化に堪える営業体質の確立
により苦難な時代を乗り切
りたいものです。

終わりにあたりまして、
三重県工組のご発展と組合
員がご家族ともどもご健勝
で益々ご活躍されますよう
心から祈念しごあいさつと
させていただきます。



関係団体の表彰

つぎの方々が各関係団体から、晴れの表彰を受けら
れました。

おめでとうございました。

平成十年八月二十八日

中部通商産業局長表彰

小野 利幸

(電気保安功労者)

平成十年十一月二十七日

三重県知事表彰

植田 昇

(優秀技能者)

平成十年十一月三十日

全日電工連創立四十周年記念

全日電工連会長表彰

楠 修次

林 照己

(役員功労者)

平成十年十月二十七日

三重県中小企業団体中央会長表彰

四日市支部 坂本 泰子

員弁支部 中島 貴美代

志摩支部 仲野 寿子

広報委員会・会社訪問

平成十年十月二日、広報委員会として久し振りに取材を兼ねて会社訪問を実施しました。訪問先は本年度「電気保安功労通商産業大臣表彰」を受賞された、大東電気株式会社。



広報委員会メンバー全員出席で、午後二時近鉄四日市駅集合、タクシーに分乗して一路目的地へ。玄関でわざわざ伊東社長以下幹部の方々の出迎えを受け会談の会社だけあり、放送設備

ビデオ設備の完備した立派な会議室で、さっそく伊東社長の挨拶から始まり、前もって用意していただいた資料「我社の安全管理について」に基づき担当の方よりスライドを混じえて約四十分説明をうけ、社員はもとより、関連協力会社も含

めた、安全管理体制の組織の強化に日々努力されている様子を聞かされました。中でも「ヒューマンファクター安全七訓の実践」という、言葉だけ聞くと大変難しそうに思いますが、日頃ついうっかりと見逃しやすい簡単な事を初心に帰って見直すという、誰にでも

すぐ実行できる事から安全意识を高める努力をされている事に感心させられました。今回の受賞は、もちろん我々電気工事業界では県下初の快挙であるのと同時に、業界としての全体のレベル

アップを公的機関が認めていただいたということであり、逆に業界として感謝すべき事だと感じております。安全に対する取り組みの何十年という積み重ねの結果であり、今後とも無事故ですます発展される事を全員でお祈りしながら、今回の取材を兼ねた会社訪問を終了しました。

「追伸」
終了後大変すばらしい料亭「浜松茂」で全員で盃を傾け、なごやかに一夜をすごす事もできました。広報委員会担当副理事長・倉田氏、委員の村山氏には駅までの出迎えから、最後の料亭までお忙しい中、段取り願ひ改めてお礼申し上げます。
(繁田 義久)



厚生委員会・研修報告

十月十九日青山理事長・三井厚生委員長始め十六名が「奈良県電気工事工業組合」を訪問し福利厚生事業研修を実施いたしました。

奈良県工組から小池理事長、南本副理事長、和田副理事長、清水事務局長のご出席をいただき組織、役員構成、福利厚生事業等について説明を受けました。

組織は「組合員数四百六十四名、十七支部」、役員は「理事長、副理事長一名、理事十六名」委員会は「総務・福利厚生・技術・広報・



学務」の五委員会から構成されています。

今回は、特に国民年金基金の加入促進について近年抜群の成績をあげている奈良県工組のノウハウを勉強しました。一例として「理事長陣頭指揮の下、役員・事務局が率先垂範、組合員宅を個別訪問し加入促進に務めた」等、大変なご苦労があったことと一同、感銘を受けました。

今後、研修成果を更に分析検討し、国民年金基金の加入促進に努力してまいりたいと考えております。また、隣県である奈良県工組とは、これを機に更に交流を深め勉強会を実施していきたいと考えております。今、三重県工組は、各支部厚生委員長が中心となり加入促進を実施していますので事業主はもとより家族、従業員の方の加入も是非お願いいたします。(三井 徳男)

中部電工連

第24回経営セミナー開催

平成十年九月二十四日・二十五日の二日間にわたり岐阜県下呂に於いて中部連合会各県役員はじめ総勢百十名が出席し、盛大に実施されました。一日目は、(財)名和昆虫研究所所長の名和秀雄氏による「遊び心、学び心」と題しての講演を拝聴しました。

二日目は、分科会討議が実施され、三つの分科会に分け第一分科会「激動期の組合事業と運営」と題して、久居支部 飯田理事が意見発表を行いました。第二分科会「氷河期経済下の電気工事業の経営」と題して津支部 繁田理事が意見発表を行いました。

また、第三分科会「組合青年部としての改革と提言」と題して松阪支部の長谷川青年部副会長が意見発表を行いました。

飯田理事は「組合員全員参加型の組織、組合のスピール、新技術の修得と新分野への挑戦、政治連盟の活用等」について、繁田理事は「会社を興した時代の原点にかえり経営のあり方を考える、経費削減等自助努力、新分野開拓受注拡大、官民間問わずの分離発注推進等」について、また長谷川青年部副会長は「青年部の大半は、二世、三世の方、すでにお金地位、土台がありその中で考えようとしがちであるが、この厳しい状況下、今こそ初心にかえる時期」と、そ



れぞれ熱弁をふるい発表していただきました。

最後に各分科会が一同に会し、座長により各会の意見をまとめ、この貴重な意見を明日への糧として新たな出発を誓いました。

なお、意見発表の資料は、各支部事務局へ一部配布しておきます。ご参考にしていただければ幸いです。

中部電力(株)取締役三重支店長より

三重県電気工事協会へ感謝状贈呈

平成十年十一月十七日役



員会の席上、先般の台風七号(九月二十二日)による大規模な配電設備被害の復旧活動に対して中部電力(株)取締役三重支店長青木 潤様より三重県電気工事協会へ感謝状が贈呈されました。

「おかげをもちまして無災害で早期に送電を完了することができました」と協力に対して感謝の挨拶がありました。

なくそう
誤結線
厚生委員会

事故による保険金の支払いは、保険会社の資金ではなく、皆様方の掛け金の中から支払われています。



六十歳の年輪

伊勢支部

植田 昇

(S14年生)

新年、明けましてお日出度うございます。

私は六十年間、伊勢大神宮の庭を見、毎日過ごして参りました。神林の恵みを受け、無事六十年の年輪を刻む事が出来ましたのも、神のお陰なのかと思う今日このごろであります。

反面、伊勢市は産業の発展には色々な厳しい規制又は条件が有り、大きな進歩が望めない土地柄なのであ

ります。

先日、机上に本年度の高島暦が届いております。

あまり占いは好きではありませんが、厳しい日々が続く昨今、本年の運勢やいか／＼と目をやりました。

案の定「洪滞運」重大な年に「年男」「本年は裏鬼門、後厄年と言われ、急進はできないが四季の万物の生成を司どる吉神、商取引、建設事業は吉、前年の困難から抜け出して地道に種を蒔く時、大切な基礎作りの年。」と有りました。

じっくりと腰を落ち着け物事をやっていく努力が大切、健康に気を付けて、あせらず怠けず今年の年輪を

刻んで行きたい。

電気と経済

松阪支部

前田 重雄

(S26年生)

新年明けましておめでとうございます。私は電気工事士として、たずさわり三十年に成ります、今年は無年、年男です。

長引く経済不況の中、企業の合理化、間違った方向転換で大損減益となり会社が倒産する日々ですが、大手・地元建設業・金融業界を始めとした各企業の倒産、経済不況は、予想を上回るものです。

各電気組員におかれましても、日々ご苦労ご苦心は置りきれない物が有ります。現場のニーズに答えるべく日々諸先輩のご助言を頂き、お客様との納得の得られる品質管理向上に励み、高度な技術配線や複雑な工

事が毎年進歩し発展しつつ電気配線工事が住宅配線、ビル配管配線に用いられております。

価値ある工事が出来ればと思い、情報の交換提示、サービス向上と安全第一をモットーにここまでやってまいりました。

これからも電気工事に打ち込んで頑張っていきたいと思えます。私の好きな言葉は、「夢とありがとう」

卯の年みんなで

力を合わせて

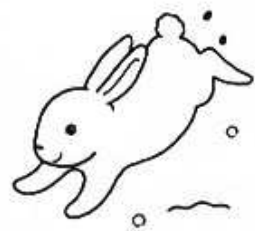
四日市支部

川口 正大

(S26年生)

新年を迎え早4回目の年男となりました。私が、会社を引き継ぎ二十七年が立ち、社会も大変かわり電気工事の業界も新しい分野が出来てまいりました。

年の初めにあたりふと考えてみますと、昔話の、うさ



ぎとかめの話を思い出しました。

私は、うさぎです。話の結末は、良くありません。亀さんに負けてしまいました。

笑いごとでは、ございません、ここ数年の不況は、いままではなく長く続いています。このような時こそ先ほどの話では、ございませんが社員一人一人の考えに耳を傾けその考えを、一つにまとめ、もう一度原点に立ち帰り、技術そして営業へと力を合わせてつらい時こそ明るく、働きやすい会社へと変えて、良い年になりたいと思います。本年が、皆様にとって、良い年になりますよう、お祈り申し上げます。

不況の中で

価値ある物を？

亀山支部

小林 富紀

(S26年生)

作文を書くのは学校時代以来で、仕事よりも難事業である事を、痛感した次第です。

今年は兎年の年男ということで四十八才を迎え、社会の一員又電気工事組合の一員として、更なる自覚をもって精進していかなくてはなりません。

現在(失業率4.3%)どの年代にも厳しい情勢ではあるが高齢者よりも更に厳しいのが四十代だという。

教育費や住宅ローンを抱える四十代、技術技能を持ち合わせないと更に深刻である、幸い我々には技能資格がある。

脱学歴時代といわれて久しい、学歴ではなく技術を、女性には積極的な社会進出

を、これが変革の激しい社会を乗り切るすべなのかもしれない。

又世間では悪質な事件があとをたちません。

物質的には恵まれた今日ですが、人間として一番大切な道徳秩序が失われてしまった様な気がします。

この不況の中で自分自身を見失わず価値ある物を見つけていこうと思っ

最後に四十八年間を感謝するとともに、今後ご指導の程よろしく願ひします。

生涯青春

亀山支部

前田 大介

(S26年生)

あるテレビ番組をとおして、老人が山頂目ざし登山、一步一步の前進、今まで多く登った山である。

しかし、高年令、途中何度か足が止まる、体力が厳

しい、時間が流れる...

結果、見事登り切る、感動した。自分自身目頭があつく

青春とは年令できまるものではない、目標に向かって挑戦という事に気がついた。私も今年四十八才、自営六年目になります。

近年とりまく環境は厳しい事ばかりである。でも、それらのことからにげるのではなく、一歩、一歩、取り組んでいきたい。

自分には今、アルタ運動をおこしている。健康に注意し、多くの人との出会いを大切に、語り合い励まし合いながら生涯青春の気持ちで頑張っていきます。

三回目の

干支を迎えて

上野支部

村脇 弘司

(S38年生)

新年明けましてお日出席

う御座居ます。

今年卯年、私も此の世に生を受けて三回目の干支を迎えました。幼年、学生時代そして皆さんに仲間入りさせていただいた年数が丁度半々を過ぎたことに成ります。

新年を向かえ過去に思いを馳せていますが、特別何も思い出せません。家族を持ち子供が出来たぐらいでしょうか？

長も老いたのでしょうか？又、出張等で留守がちで仕事にあまり力を入れなくなりました。後継者の宿命でしょうか。小さな会社ではあります

が店の経営、お客様の対応、従業員のこと等考えるだけで身の震えを覚えます。

又、新技術の勉強、資格の修得、時代に即した対応等しなければならぬ課題が多く有ります。

今年も昨年につづき経済不況と先の見えない電気工事業界と思われ

ないと思われませんが、電気工事業は私の天職と思ひ対処していかなければならないと自分自身に叱咤している所です。

今年私の年卯年です。何か良い事が有りそうに思ひます。若さと皆様の御指導等で電気業界の発展に小さな一つの光と力に成りたいと願っています。

心に残る

明かりを

松阪支部

宮崎 逸巳

(S38年生)

新年のお慶びを申し上げます。

私は昭和五十四年に、電気工事という仕事に携わり二十年がたち、今思うことはお客様の家の普段の生活の中で、優しく光る照明、その一つの明かりが、自分が造ったと思うことに喜び

(9面へつづく)



を感じています。(8面よりつづく)

「人の心にも残る。町にも残る」仕事を一つ一つ増やして訪れる人の目にも、心にも残る夜景を造っていきたく、日々の努力と内容の充実を心がけ仕事をしています。

おかげさまで、周りの人にも恵まれ、今の自分があるのは、皆様のお陰だと感謝しています。これからどれだけの仕事ができるかわかりませんが、何事も信じ行動し、自分の行動に責任をとり、チャレンジしていきたいと思えます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようよろしくお願い致します。

厄年を迎えて

桑名支部

三上 龍一

(S50年生)

厄年を迎えて、自分を振り返って見ると、時代は経済の大競争と言われ、電気工業でも不況の中にあり、季節と共に寒さも厳しくなってきたと思います。

こうした中で求められるものは、やはり個性と想像力に富み、専門性を備えた行動力を持った人材であると思います。

あらゆる機会を捉えて学び、自らを高めていく心構えを持たなくてはなりません。不況と言われる世の中で自分のやるべき事を明確にし、どのように人生を築いていくのかという事を思考し、社会的位置を確認して、そこから行動を起こすことが人生を有意義に過ごすためには肝要なことであると思います。

▶ 会員異動のお知らせ ◀

前号以降の会員異動は下記のとおりです。名簿の追加修正をお願いします。(事務局)

支部	種別	コード番号	事業所名	代表者	住所	電話番号	郵便番号	登録(届出)番号
上野	新規加入	31504	菱南電化サービス	田矢 幸夫	阿山郡大山田村大字平田350	0595-47-0001	518-1422	10-83
"	"	31505	城北電工社	井藤 雅夫	上野市平野中川原597-1	0595-23-9080	518-0828	10-82
伊勢	"	33175	御モリ電設	守田 弘之	伊勢市勢田町740-41	0596-23-5767	516-0035	10-120
尾鷲	退会	32416	長谷電気商会	長谷古志雄	北牟婁郡紀伊長島町東長島478-1	05974-7-0465	519-3204	8-300
四日市	"	34061	関口電設(御所)	青山 修	四日市市中里町22-1	0593-46-2176	510-0864	(届)大臣46121
松阪	"	32168	庄司電機松阪店	庄司 竹文	松阪市光町1296-15	0598-23-9031	515-0051	8-263
松阪	承継加入	32155	御トリイ	鳥井 昇	松阪市久保町1855-296	0598-29-0399	515-0044	9-86
伊勢	"	33132	西村電気工事	西村 茂生	度会郡玉城町蚊野1752	0596-58-3472	519-0431	10-109
四日市	"	34078	高橋電気工事	高橋 英治	四日市市笹川9丁目7-35-505	0593-21-8419	510-0944	6-51
"	"	34111	山口電気(御)	山口 昭雄	三重郡菟野町大字千草3194	0593-94-7999	510-1251	8-63
桑名	"	34474	御カワデン	川瀬 信行	桑名市大字島田524-5	0594-31-0370	511-0936	6-102
鳥羽	変更	33302	御出口電気商会	出口 裕朗	鳥羽市堅神町1018-6	0599-25-2505	517-0014	(届)94-19
四日市	"	34123	三重電設(御)	斎藤 邦子	四日市市日永西3丁目4-1	0593-47-2345	510-0891	(届)460073
"	"	34129	御黒宮電器店	黒宮 健	四日市市別名1丁目5-6	0593-31-7922	510-0007	8-88
"	"	34175	林電設	林 克史	四日市市新町5-7	0593-51-9318	510-0092	8-44
"	"	34180	音羽電気(御)	粕谷 学	三重郡菟野町音羽758	0593-93-1418	510-1252	(届)86-4
上野	"	(協)31190	御上野エネック所	岡田 三郎	上野市西明寺字東野2782-140	0595-21-0292	518-0809	(届)大臣4665
名張	"	(協)31590	御名張エネック所	湯浅 尚治	名張市蔵持町原出522-15	0595-63-1208	518-0752	"
尾鷲	"	(協)32190	御尾鷲エネック所	藤田 徳	尾鷲市天浜1丁目3-8	05972-2-4522	519-3633	"
四日市	"	(協)34090	御四日市エネック所	中島 春行	四日市市富士町2549	0593-31-2191	510-0013	"
"	"	(協)34055	近畿工業(御)三重営業所	大橋 正孝	四日市市新正2丁目8-18	0593-52-4148	510-0064	(届)大臣46203
"	"	34024	御大西電機商会	大西 宣義	四日市市中部5-12	0593-52-7751	510-0082	(届)51-72

平成10年12月1日から教育訓練給付制度スタート

教育訓練給付制度は

労働者の自発的な能力開発の取り組みを支援し、その雇用の安定及び就職の促進を図るための制度であり、労働大臣の指定する職業に関する教育訓練を受講し修了した場合に、その要した費用の一部を雇用保険金で負担する制度です。

1、受給できる人は

教育訓練給付金が受給できる人は、次の(1)又は(2)の何れかに該当する人で、労働大臣の指定する職業に関する教育訓練を受講し修了した人です。

- (1) 受講開始日において在職中の人（一般被保険者の人）雇用保険被保険者期間（雇用保険に加入していた期間）が受講開始日以前に5年以上ある人。
- (2) 受講開始日において離職している人（離職日から1年以内に限り）雇用保険被保険者期間（雇用保険に加入していた期間）が受講開始日以前に5年以上ある人。

2、労働大臣の指定する職業に関する教育訓練の指定基準（抜粋）

教育訓練の期間及び時間は概ねつぎのとおりです。

- (1) 通信制の場合 3ヶ月以上～1年以内
- (2) 通学制の場合 1ヶ月以上～1年以内かつ受講時間50時間以上

3、受給できる額

教育訓練に要した費用（入学科及び受講料）の8割に相当する額（最高20万円）が教育訓練給付金として受給できます。

なお、教育訓練に要した費用が1万円未満の場合は補助対象となりません。

4、受給手続き

教育訓練修了後、居住地を管轄するハローワーク（公共職業安定所）に申請してください。

お問い合わせは、三重県生活部雇用保険課給付係 ☎ 059-224-2470
又は最寄りのハローワーク（公共職業安定所教育訓練給付担当係）へ

【表紙写真募集】

今後、本誌の表紙写真を組合員（会員）の皆様からの投稿写真を利用していただき掲載したいと考えておりますので、各地の行事や風物などの写真をお送りください。

選択、掲載については、広報委員会に一任とさせていただきます。

なお、写真は未発表のものでプリントに限ります。

〈送付先〉

〒514-613

津市大字垂水字焼尾

2612193

三重県電気工事業組合
事務局

お問い合わせ先

三重県電気工事業組合
事務局

TEL 059-226-4862

FAX 059-226-4869